

第50回 入学式 式 辞

春の暖かな日差しと風が新たなスタートを告げる今日の良き日に、ご来賓として同窓会長大矢徹様、PTA会長小田真吾様のご臨席、そして新入生の保護者の皆様のご列席のもと、兵庫県立舞子高等学校第50回入学式を執り行うことができますことは、私どもにとってこの上ない喜びであり誠に嬉しく存じます。本校を代表し深く感謝申し上げます。

先ほど入学許可をされた第50回生240名の皆さん。ご入学おめでとうございます。職員一同、心より歓迎いたします。

そして保護者の皆様、お子様のご入学誠にありがとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様のご尽力に心より敬意を表しますとともに、私たち教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。どうか本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本年創立50周年を迎える本校のキャッチフレーズは「ワンランク上の自分磨き 舞子高校」です。加えて校訓は「誠実 健全 親愛 勤勉」となっています。社会に出るために身につけておくべき大切なものです。高校時代の自分磨きは自分自身を知らなければできません。自らの長所、短所、置かれている状況など自分自身を受け入れ、さらなる高みをめざしましょう。そして自分自身の判断に任された感染症対策などしっかりと考えて行動し、行事を楽しみましょう。高校時代を充実したものにし、高校3年生の誕生日で成年となる皆さんが責任ある行動がとれるよう成長してくれることを願っています。

そのために次の三つのことをお願いします。

一つ目は、「感謝の気持ちを持つ」ということです。自分の目標を達成するために自らが頑張ることはもちろんですが、そのためには多くの方々があなた方を見ている、支援していることを忘れてはなりません。当たり前前の生活は多くの方に守られていることは実感してきたと思いますので、そのことに感謝の気持ちを持ち、誠実に、謙虚に自分磨きを進めてください。

二つ目は、「失敗を恐れず前を向く」ということです。発明家のトーマスエジソンは「私は失敗したことがない、ただ1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」と言っています。同じくパナソニックの創始者である松下幸之助さんは「失敗したところでやめるから失敗になる。成功するまで続けたらそれは成功になる。」と言っています。どちらも発明家として名を馳せた方ですが、失敗を失敗と思わず、前を向いて諦めずにやり抜くこと、思いをもってやり続けることで見えてくる世界があり、それが成功につながるというものです。失敗を恐れず、チャレンジをし続けることは高校時代にはとても大切なことです。前を向いて学校生活を送りましょう。

そして、三つめは「私の使命」を見つけたいということ。詩人であり、書家でもある「あいだみつを」さんが残した「私がこの世に生まれてきたのは 私でなければできない仕事がある何か一つこの世にあるからなのだ」という言葉があります。「私にしかできないこと」「私だからできること」を見つけ、そのことに一生懸命に取り組めることはとても幸せなことだと思います。自らの使命を感じ、責任をもってやり抜くことができる力を身に付けて欲しいと思います。そのためには、「自分でもできること」は確実にやり遂げることが大切です。「こんなこと」と思うことをしっかりやり続けることで確実に力はつき、周りの信頼を得ることができます。その上に「自分にしかできないこと」を加えることができれば、自らのやるべきことが見えてくるでしょう。それが「私の使命」です。高校時代には、その使命を感じるように自分自身を磨き、生活を充実させてください。

しかしながら高校時代には悩みはつきものです。悩むことこそが生きている証です。悩むことでいろいろなことがわかったり、今まで見えていなかったものが見えてきたりします。うまくいかないときには、友達、上級生、先生に相談してみてください。失敗を失敗と思わせないような良い知恵をもらえるはずで、一人で抱え込まずに、それでもしっかりと悩んで、自らの答えを導き出してください。そのことが皆さんを成長させてくれます。しっかりと考える力を身に着け、自分で行動できるようにしていきましょう。

最後に職員一同、皆さんの成長を心から願っています。そして、みなさんをしっかりとサポートしていきます。そのことを保護者の皆様にもお約束し、皆さんの今後の頑張りと活躍を期待しまして式辞とさせていただきます。

令和5年4月10日
兵庫県立舞子高等学校
校長 若浦直樹





